

## 子育て中の悩み相談、「ひるがの」が受け付けます。

小柄な体にいつもここにこ素敵な笑顔が印象的な和田まち子さん。まちさんが子供や若いお母さんの相談的な仕事をされているらしいことは、みなさんもなんとなく知っているのではないのでしょうか。まちさんは、とつても子供好き。ご自分でも「ほんとに子供が好きなの。」とおっしゃいます。それで、近所で子供を見かけると、「どの子?」「いくつになったの?」「学校楽しい?」などと声をかけたり、名前を覚えていたり。よその子でも、だんだん成長していくのを見るのが嬉しいのだそうです。


そんなマチコさんの子供好きならわさは役場まで聞こえていき、母子推進委員を引き受けることに。さらには民生児童委員を兼務。まちさんは「どこどこに赤ちゃんが生まれた」と聞いてもなかなか親子の顔を見ることがなかったり、お母さんや子供の集まりに来ない、なんて情報も聞くと、一人で悩みを抱えているんじゃないかと、気になって気になって、いても立つてもいられなくなってしまう。そんな時は、委員の肩書きが役に立ちます。名札をかけて、気になる親子を訪問。訪ねていった話を聞くと、若いお母さんは案外ちょっとしたこと、悩んでいることが多いのだとか。

「子育て中のお母さんが悩んでいるのはいけないので。」とまちさんは言います。まちさんのお母さんや若いお母さん、まちさんのお母さんがいるから、「ひるがの」が魅力だ」とよそから来た人たちにも言ってもらえるんじゃないかと思えます。まちさんはよく旦那さまとも「ひるがの」は、みんながやさしくしてくれるというけど、先祖が開拓で方々から集まってきた、いわばよそ者の集まりだからだな。」と話すそうです。それぞれ違う場所から集まった者同士が、助け合って作り上げてきたひるがのだから、新しくやってきた人にも、温かい手を差し伸べることが根付いているのでしょう。

ところで、まちさんが応援・支援しているのは、子供や若いお母さんばかりではありません。毎月ひるがののお年寄りのために開かれる「いきいきサロン」に、車が無くてもいけない、という人のために、数人のお仲間と交代で送迎をしています。

「月に二回、これに出掛けるのを楽しみにしてみえる人も多いから」と。また、ここ数年は、中学や高校を卒業する子供たちに声をかけて「卒業してバラバラになる前に、みんなで集まったら?」と、ご自宅の和田屋の食堂を提供。ピザを焼いてあげたりするのだとか。少ない人数だからこそ、いつまでも仲良くしてほしいという思いから。

「地域の便利おばさんでいいと思つて。」と、まち子さん。「困ったことがあったら、とりあえず話してみたい。」という小々な体のまちさんが、とても大きな人に見えます。まちさんに話を聞いてもらったら、胸のつかえもすっきり落ちて前を向ける気がします。

**和田まち子さん** 

**民宿・和田屋の奥さん。**  
現在は母子推進委員と民生児童委員を兼務 地域の子育て中のお母さんや、家庭を訪問しているいろいろと話をしたり、悩みを解決する手助けをしたりしている。基本的にはいつもご自宅にいらっしゃるそうです。相談があったら、和田屋さんに連絡してみてください。



## 中田さんちのおともだち



冬の寒い毎日、こんなおともだちが訪ねてきてくれるなら...  
なんだかほわわかったかくなりませぬ。  
気づかないだけで、実はひるがの近所サロンの日常かもしれません。

犬と仲良し??  
野生のキツネ

雪にたたずむテン。  
視線の先は...?

別荘で一時保護された  
ヤマネ

寒そう...白に赤が美しい  
マハゲラ

【写真提供：中田信也】

### 今シーズンもスノーシューは絶好調

1/28公民館行事でツアー開催しました。  
「百間は一見にしかず!」とにかく写真見て!  
最高の天気。とても楽しそうですよ。



いつどこ?だれ? 小さなで分からない? 分かる人には、分かるはず!

## 懐かしフォトグラフ

【ヒント】  
写真右/平成4年 大日フェス  
写真下/??????

虫めがね  
ご用意ください



「ひるがの」を懐かしんでいたかどうか、勝手掲載させていただきました。ごめんなさい。